

# 令和3年度 文京区立明化小学校 授業改善推進プラン

## 第3学年1組

	児童の実態	指導のめあて	具体的な授業改善の方法	2学期評価	3学期評価
国語	<p>○書くことに苦手意識を持つ児童が多い。</p> <p>○漢字や言葉に対する知識・理解は、児童によって差がある。</p>	<p>○身近なものを題材にした文章を書く機会を増やして苦手意識を取り除き、豊かな表現力を養う。</p> <p>○文章を書くときに、習った漢字を用いて正しく書けるようにする。</p>	<p>○毎回テーマを変えた一言日記に、定期的に取り組む。俳句の作り方のコツを教え、様々な方法で俳句作りに取り組む。</p> <p>○定期的に漢字テストを行う。作文を書く、推敲する機会を積極的に設ける。家庭と連携し、漢字が身に付くようにする。</p>		
社会	<p>○自分たちの住んでいる文京区に関して、関心・意欲をもって学習に取り組んでいる。</p>	<p>○年間を通して、文京区について様々な知識を得られるように計画的に学習を進めていく。</p>	<p>○「わたしたちの文京区」を活用して地図や写真をもとに調べ、文京区に関する知識を身につけさせる。</p> <p>○実際に地域巡りなどに出かけ、できるだけ自分で体験する活動を増やすようにする。出かけることができない時は、動画などを活用する。</p> <p>○授業の中でわかったことを交流し、個々の気づきを全体へ広めたり、関連付けたりする。また、話し合いを通して考察を深める。</p>		
算数	<p>○関心・意欲が高く、算数の学習に対して積極的に取り組む児童が多い。</p> <p>○九九などの基本既習事項が身に付いていない児童がいる。</p>	<p>○発展問題に取り組むなどしてさらに意欲を高める。</p> <p>○基礎・基本を確実に身に付ける。</p>	<p>○毎時間の学習に関して、学年や算数専科と連絡を密にし、日々の学習の進め方について相談する。</p> <p>○家庭と連携し、基礎・基本が身に付くようにする。</p> <p>○タブレットを活用し、習得度に</p>		

	○文章問題から正しく立式できない児童がいる。	○問題の内容を正しく理解し、解決できる児童を育てる。	合わせた復習を行う。 ○文章問題のキーワードに線を引いたり、図や数直線に表現させたりして正しく問題を捉えられるように指導する。		
理科	○生活科より進歩した観察の仕方・学習に関心を持ち、積極的に取り組む姿が見られる。 ○昆虫・植物などの生き物に関する興味・関心が高い児童が多い。	○児童の関心・意欲を高め、主体的に学習に取り組み、さらなる知識や理解を深める授業を構築する。 ○個別で調べ学習を行い、調べたことを発表し合う活動を通して、生き物に関する興味・関心知識をさらに高める。	○導入で児童が学習内容について疑問をもつような課題提示を行う。また次時の課題や疑問を導き出せるようにする。 ○体験・実験活動を大切にし、実物に触れる機会を多く設定する。		
体育	○どの学習に対しても意欲的に参加している。	○年間を通して、どの領域についても意欲的に取り組めるようにする。	○コロナ禍でも協力してできる運動を工夫し、運動機能の向上に努めていく。 ○主体的に学習に取り組むためにも、必ずめあてを立ててから運動するようにする。		